

## 衛生管理（公衆衛生・環境衛生問題）2026

### 1 衣服の着用目的と生地の性質に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか

- ① 体温調節・・・通気性                      ② 身体保護・・・抗帯電性                      ③ 清潔保持・・・防水性                      ④ 作業能率増進・・・耐熱性

### 2 衣服の衛生に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 衣服は、外部からの機械的作用による障害を防ぐ目的がある                      ③ 衣服は、加工処理に使用される薬剤によって、皮膚炎を起こすことがある  
② 美容師の作業衣の色は、汚れが目立たないものがよい                      ④ 衣服は、皮膚表面から分泌される皮脂や汗を吸着し、皮膚を清潔にする

### 3 住居の衛生に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 人の生活する住居の機能性、快適性、安全性は、温熱条件、明るさ、音、空気、広さ、構造、設備で決まる  
② 換気とは、室内環境を良好に保ち、改善するために外気を取り入れて室内空気と入れ換えることである  
③ 冷房が強いと、体温調節の機能のバランスを失って、冷房病といわれる現象をおこす  
④ 北向きの窓では照度が高く、南向きの窓では安定した照度が得られる

### 4 採光と照明に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 自然光には、直射日光と、雲を通してくる光や北の窓からの光などの天空光がある  
② 晴天日の直射日光の照度は10万ルクスである  
③ 一般に日常生活に不自由のない明るさは、10ルクス程度である  
④ 照明には作業場所だけを明るくする局部照明と部屋全体を明るくする全般照明がある

### 5 上下水道に関する次の組合せのうち、誤っているものはどれか

- ① 上水道水としての適・不適・・・水質基準による                      ③ 下水処理後の放流水・・・任意の塩素消毒  
② 浄水操作の最終の過程・・・塩素消毒の実施                      ④ 下水処理後の放流水・・・法による水質規制の実施

### 6 わが国の上下水道に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 下水道の放流水や上水道の供給水の水質は、法律によって規定されている                      ③ 我が国の下水道の普及率は90%以上である  
② 水道水は、取水、導水、浄水、送水、配水の過程を経て供給される                      ④ 人が利用を終えた水を下水とよぶ

### 7 わが国の廃棄物処理に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 産業廃棄物の処理は事業主が自ら行い、業者に委託してはならない  
② 廃棄物の処理は、直接埋め立てが主流である  
③ 廃棄物の抑制等を目的とした資源の有効利用に関する法律がある  
④ 事業系一般廃棄物以外の一般廃棄物の処理は、事業主自身か、業者に委託して行う

### 8 衛生害虫に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① ノミによる吸血は、かゆみを伴い、感染症を媒介するおそれがある                      ③ ハエは、黄熱、デング熱を媒介する  
② 蚊は、メスがヒトや動物から吸血し、感染症を媒介するおそれがある                      ④ シラミで、人に寄生するのは、ヒトジラミとケジラミである

### 9 アタマジラミに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① 主に保育園児、幼稚園児、低学年児童に発生する                      ③ 吸血して、かゆみを起こす  
② 頭皮（表皮）に卵を産む                      ④ タオルの共用で感染することがある

### 10 ダニやカビなどに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか

- ① カビが人のアレルギー反応を引き起こすことはない  
② カビや害虫による被害は、一般的には夏に多いが、暖房の普及とともに、一年中見られるようになった  
③ 害虫などの駆除に用いる薬剤は、人に有害なこともあるので、使用方法に注意を要する  
④ ハウスダストの中に含まれているダニの死骸やふんが人のアレルギー反応を引き起こすことがある

### 11 水質汚濁と下水に関する次の記述の内、誤っているものはどれか

- ① わが国では、水質汚濁防止法によって公共水域の水質を保全している  
② 美容所では、使用済みの薬品を廃棄する際、十分な流水による希釈が必要であるが使用していない薬品を廃棄する際、希釈の必要はない  
③ 下水を衛生上無害にすることを下水処理という  
④ 下水の整備は公衆衛生上の効果を期待できるので、今後の普及向上が必要である

解答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	1	2	4	3	3	3	3	3	2	1	2